

業務展望レポート			
6	池田繁人	所属名	那賀町教育委員会
		職名	課長補佐

### [1]研修参加の意義

研修に参加するにあたって、いつもは受け入れをしていた側の JICA 活動の研修視察だったが、今回は私自身の見識を更に広め深めるために、寛容な職場の理解もあって、この JICA 教師海外研修教育行政担当者コース(ネパール)に送り出していただけたことは非常に意味があった。

学校教育もさながら、社会教育、その中でも人権、文化、生涯学習諸々に関係する、これから私がやらなければならない業務について、影響を受けるものが何か私自身の中に芽生えてきており、その経験を活用できるように進めていきたい。

### [2]海外研修全般に関する所感

今回は、四国の各県から集まった10名で構成されたメンバーで、ネパールでの数日間、苦楽を共にした。メンバーの中では若い方かなと思っていたが、実は上から数えた方が少し早かった。

何はともわれ、とにかく研修の最中は、水は飲めない(汚染されている。水道水もダメ。)外に出ればもの凄い砂埃と日射しのキツさ。さらに交通マナーの悪さ、道路の不整備、現場から現場への移動距離の長さ等、かなり疲れた日々を過ごしたと思う。

一人一人、次々と日本と合わない食文化と環境に調子を崩していく日々だったが、それでも私や他のメンバーも研修内容としては、かなり充実したものであったと思う。

ネパールの貧困の状況、まだ残る差別意識、子どもの就労問題(法律というものがあながら、生活のために子どもに仕事をさせている事実を黙認している。)等でそれを解消するために活動している団体や施設、学校の授業風景を視察してきたが、考えさせられることが多くあった。

世界遺産の建造物も、道中で拝見することができた。修復している現場も視察させていただき、貴重な時間を過ごせた。

研修最終日には、ネパールの教育庁へ出向き、教育施策について意見交換を行った。先陣をきって意見を述べようとしたが、マイクのスイッチが入ってなく、緊張もあり、まさか国外でも恥をかいてしまうグタグタぶりだったのが辛い思い出となってしまった。

その中でも、研修の一つとして、ネパールの日常生活を体験することができたのは、とても感慨深く思い出として残った。(ここでも、途中で腹痛が走り、最後の記念写真がとれなかった。)

何か我々に出来ることがないのかと感じたが、今の状況では黒板一つ作ることが出来ない状況という現実を垣間見て、今回来たメンバーが、まだ生きていれば、また7年か10年後にネパールに来ていい施策を考えて、何かを立ち上げたいという気持ちに全員がなった研修であった。



### [3]特に印象に残った視察・訪問先を3つ挙げ、その内容をご記入ください。

視察・訪問先	所感
古都パタン	初めての海外で、寺院や文化財等建物に興味のある私にとって、まず最初に世界遺産を拝見できたことについては、非常に有意義な時間を過ごせたと思う。 古都パタンで、ネパールの文化や人々の暮らしの一部分に触れることがで

	きて、印象深い一日だったと思う。
パトレケット村 ホームステイ	<p>1泊2日でお世話になったのだが、本当に家族の方にはお世話になり、食文化にも触れまして、胃腸も丈夫になった？</p> <p>凄いと思ったのは、8歳くらいの子もたちが英語だけでなく中国語も少し喋れるということ。これは将来、隣国である中国に仕事に行くようになっても対応できるように勉強しているのだと。貧困の差があるネパールでは、このくらいの年齢から将来に向けて準備しているのだなと。寝る前に、ネパールの歌と中国語の歌を聴かせてもらい、安らかに寝床に入ることができた。</p> <p>食事は、まずは客人、そして一家の主、子ども、母親ら女性というように順番が決まっているようだった。私たちが食べ始めないと、いつまでも食べれないということで、早朝からの食事の量で目を回しそうだった。</p> <p>日本とはまた違った、和やかで安らぎのある食卓がそこにあった。水さえ飲めることができれば、いい所だなと思った。</p>
シンドウパルチヨーク郡の 小学校	<p>学校にきて、最初に思ったのは、子どもたちの輝いた真剣な眼差しだった。日本では感じられない、教育に対しての貪欲な姿勢が、子どもたちの視線からひしひしと伝わってきた。</p> <p>黒板もない状況の中、先生方が教えている現場をみて、話を聞いて、ネパールの抱えている教育の問題の根深さ等を知ることができた。本当に何か出来ることがないのかと、考えられた一日だったと思う。</p> <p>またこの学校だけではないが、断崖絶壁的な場所にある学校や、吊り橋を渡らなければ行けない学校などがあり、環境的にもどうにか出来ないかと思った。</p>

#### [4]今後の業務における活用の可能性

今回、私は本当にいい機会に恵まれて研修に参加できたと思う。

私が経験したことを誰かに伝えることで、国内だけでの体験、知識で満足せずに、もっと海外に対して幅広く飛び出す機会を目指す者が出てきて、同じように体験し、私を感じる以上に視野が広がり、見識をもつことができる。

そんな風に進んでいけば、直接業務に繋がっていくとは言い切れず、人それぞれ感じ方も違うかもしれないが、これから先にいろんな分野で活躍、活用できるものが生み出されてくるのではないかと考えている。